



いしはし 清孝 石橋きよたか 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411



●東金市特集● 12月県議会 危機的状況の県財政

将来を見据えたビジョンと政策で、千葉県や東金市の未来を提言する石橋清孝(いしはし・きよたか)県議は3期、東金市選出。12月県議会定例会では、所属する自民党を代表して本会議での質問に立ちました。特に、山武郡市の医療過疎問題解決へ情熱を傾ける石橋県議は、地元市町で進めている(仮称)「九十九里地域医療センター」問題や、医師確保への対応策、県民要望の強い乳幼児医療費助成対象の拡大など医療問題を中心に県の姿勢をただしました。その模様を特集します。

2財源不足 百億円

超過課税など新税源検討

交付税大幅減が響く

石橋 本年度の税収見通しはどうか。
知事 法人二税が当初予算編成時に予想していたほどの伸びがない状況で、このままの傾向が続くと当初予算額を100億円程度下回る懸念が懸念されます。石橋 税収見直しを受けての本年度の収支見直しは、

知事 地方交付税の大幅な減額などのため、年間収支の財源不足は200億円に拡大しました。この上県税収入が減るとなれば、まさに危機的財政状況になります。石橋 新たな税源確保対策の検討状況はどうか。

知事 歳入確保策として県としても何らかの独自財源を確保していく必要があり。そこで全国の状況をみると、超過課税など新たな税制の検討・実施が進んでいます。本県の新たな税財源の確保策についても検討を真剣に行っています。

12月県議会で代表質問に登壇。県民の視点から県政に提言

- 石橋清孝県議・12月県議会代表質問項目**
1. 財政問題
 2. アクションプラン
 3. 県国土利用計画の策定
 4. 人事委員会勧告の取り扱い
 5. 私立学校問題
 - ・私学助成
 - ・インターナショナルスクール
 6. 消防防災体制
 - ・消防の広域化
 - ・防災教育
 7. 医療問題
 - ・医療体制の充実
 - ・乳幼児医療費助成事業
 - ・県立病院の中期経営計画
 8. 温室効果ガス排出量報告制度
 9. 県青少年健全育成計画案
 10. 農業産出額全国第2位奪還に向けた緊急戦略
 11. 建築確認手続きの円滑化
 12. 教育問題

温室効果ガス削減 排出量報告を条例化

石橋 温室効果ガス排出量報告制度を導入する目的は何か。
副知事 本県の2002年の排出量は、京都議定書の基準年比で9.6%増加。特に対策をとらないと、2010年には13%増加すると予想されます。そこで、県内排出量の7

割弱を占める産業部門と排出量の伸びの大きい業務部門を対象にした報告制度を年度内に制定したい。石橋 導入に当たり事業者との意見交換はしたか。
副知事 県経済協議会、県トラック協会などを行い、意見を参考に条例骨子(案)を策定しました。

全国2位奪還へ 緊急対策

石橋 農業産出額全国第2位を奪還するための緊急戦略は。知事 緊急対策として3年間、集中的に実施します。高品質で新鮮な野菜を安定供給するための施設化の促進、収益の高い新品目を活用した新たな産地づくり、希少性を付加価値とした県ブランド豚の創出や和牛生産の強化などです。石橋 畜産部門は知名度の向上が重要と思うが。
知事 生産、販売、消費者等で「県産豚肉販売促進協議会」を設置。県産豚肉に統一名称やキャッチコピーを付けた販売、メディア等の広報媒体や商談会等での積極的なPR活動などの提案を受け、関係者と連携して知名度向上に努めます。

石橋きよたか県議プロフィール

略歴

- 昭和24年1月 東金市生まれ
- 昭和49年3月 明治大学卒
- 新東京国際空港公団入社
- ミシガン大学留学
- 平成11年8月 県議会議員初当選
- 平成19年4月 県議会議員3期目当選
- 県議会健康福祉常任委員長、農林水産常任委員、健康福祉常任委員(7年)

現職

- 県議会 総務常任委員会副委員長
- 自民党県連 医療問題議員研究会幹事
- 農業土地改良議員連盟会員
- 防衛問題対策議員連盟会員
- 地盤沈下問題対策議員連盟幹事
- 農政問題研究議員連盟幹事
- 介護問題対策議員連盟会員

県政に関することはお気軽に 石橋きよたか 事務所 〒283-0005 東金市田間174-2 TEL.0475(52)1588 FAX.0475(52)1598

九十九里地域医療センター計画 千葉大の協力を要請 センター長の推薦、設立運営も

●東金市特集● 12月県議会



乳幼児医療費助成の拡大

県も「必要と認識」

石橋(仮称)九十九里地域医療センター計画の進捗状況はどうか。

副知事 この計画については、3月12日に山武郡市の全市町長が知事と面談し、地元の方々がまとめたこと、報告と県に支援を求める要望書の提出がありました。その際、計画の具体化に向けてセンター長候補者の人選について県に依頼がありました。

県として検討した結果、センターの設立運営には千葉大学の協力なしには不可能と判断。6月に千葉大にセンター長候補者の推薦と運営に向けた人的支援をお願いしました。

これを受け、千葉大は現在、センター長候補者の選

要望

千葉大が1日も早くセンター長候補者を推薦していただけるよう、県からも一度強く要請していただきたい。

石橋 乳幼児医療費助成事業について、通院医療費助

高校生を防災リーダーに **防災教育**

石橋 消防の広域化で対象となる市町村の組み合わせの基本的な考え方は。

副知事 大きな枠組みで広域化を図る、医療圏を考慮する、県の市町村合併推進構想の組み合わせを分断しないよう留意する一です。

年度内に消防広域化推進計画を策定します。

石橋 今年度から始めた防

成の対象を小学校就学前までに拡大することを決断すべきと考えるがどうか。

副知事 乳幼児医療費助成事業で県は10月から通院の助成対象を1歳引き上げ4歳未満としたところですが、県議会や県民の強い要望を踏まえると、さらなる対象の拡大は必要と認識しています。

しかし、現行の自己負担額を維持したままで通院の助成対象を小学校就学前まで拡大すると、平成20年度の医療制度改正を見込んで、総額で36億円が必要となり、現行予算に比べ12億円の増額となります。

そこで、この事業を長期

建築確認申請の状況を県HPで

石橋 建築確認申請の最近の状況はどうか。

副知事 本年6月に改正建築基準法の施行されたところですが、周知期間が極めて短かったなどのため、7月の申請は対前年同月比で44%減と大幅に落ち込みました。その後、説明会や相談窓口の設置などで10月は2%減とほぼ前年並みまで回復しています。

石橋 手続きの円滑化へ今後の対応は。

副知事 申請手続きマニュアルの周知徹底、審査機関における建築確認の申請状況を県ホームページでお知らせすることになっています。

ドクター 県南部配置に前向き

石橋 県の医師不足対策で、後期臨床研修医貸付制度の見直しの現況と今後は。

副知事 後期臨床研修を行っている若手医師の間に、研修後ただちに医師の少ない

い病院勤務への不安感が増大しており、貸付が進んでいません。

そこで地域の中核的病院と一般病院との間で勤務ローテーションを導入して研

修了後も引き続き中核的病院で専門技術の取得が行えるようにし、一般病院勤務中は中核的病院の指導医がバックアップする体制を整えたいうえで、年内に再募

集を行います。

石橋 ドクターヘリの積極的な活用についてどのよう

副知事 現在ドクターヘリは県北部に1機配置されていますが、県南部への出動に時間を要することや、過去3年度とも出動回数が年

6百回を超え、全国的にも多いことから、1機では不十分と考えています。

2機目を県南部に配置することで、県全域にほぼ15分以内で到達でき、救急医療体制の強化にも大きく貢献すると思えます。

なお、運航時間の延長は

要望

知恵を出せば夜間の航行もそれほどコストをかけずに実施することは可能。ぜひ実施していただきたい。

●東金市特集● 12月県議会代表質問

ビジョンと政策で県政

石橋きよたか県議